

議会だより

伊那市議会事務局
TEL 0265-9681149
FAX 0265-7691117
E-mail gki@nackty.jp

Vol.36

道路交通対策特別委員会 要望・提案活動及び視察報告

当委員会は10月13日から15日まで、国土交通省中部地方整備局、国土交通省(道路局、総合政策局)、関東地方整備局の3か所に、道路及び公共交通の充実について、要望・提案活動を行いました。同時に地元選出の国会議員にも要望・提案活動を行いました。また、公共交通の先進例として、千葉県南房総市と房総半島中部を走る三セクのいすみ鉄道の取組みを視察しました。

● 国土交通省への 要望・提案活動

13日には、国土交通省中部地方整備局を訪れ、大野副局長に提言書を手渡し、上伊那の主要な道路要望を伝え懇談しました。その後、国土交通省に移動し、森道路局長に提言書を直接手渡し、副大臣、事務次官、審議官など35あまりの部署に提言書を提出しました。

14日には、関東地方整備局で石川局長に提言書を手渡し懇談しました。
委員は国道153号伊駒アルプスロードの必要性を熱く語り、



関東地方整備局での提言の様子

住民の総意として国の直轄指定等による早期事業化を要望しました。また、国道152号、361号の各国道の拡幅・改良、環状南線関連道路への予算措置につ

いても強く要望しました。
オリンピックの影響等で地方の道路整備の予算確保が難しくなっている実情も踏まえ、地方の道路整備予算の例年通りの確保を要望しました。

● 国会議員への要望・ 提案活動

13日午後には地元選出の国会議員への要望・提案活動を行いました。参議院国対委員長室に吉田博美参議院議員を訪ね、続いて衆議院議員会館に宮下一郎衆議院議員を訪ね、提言書を手渡しそれぞれ懇談しました。

両議員とも伊那市・上伊那の道路整備に対して深いご理解を示され、和気あいあいとした雰囲気懇談ができました。

● 南房総市の公共 交通の取り組み

房総半島南端の南房総市は、伊那市と同じく平成18年に7町村の合併により誕生した人口4万人の市です。南房総市地域公共交通活性化協議会は平成23年に、合併後の公共交通の地域間不均衡の解消に向けた取り組みが評価され、国土交通大臣表彰を受けています。
南房総市における公共交通の

充実が市長の特命事業であり、公共交通のエキスパートの職員を育てることが特徴です。
中心になって活躍している鳥塚さんしづたは、国土交通省の地域公共交通マイスターに任命されており、各地に出かけて講演なども行っているとのことでした。講演の中で「公共交通の充実が、各地の特性に合わせて計画を立てることが重要であり、これという特効薬は存在しない。」また「公共交通の施策は、まちづくりと一体で進めることが重要。公共交通政策の策定には、関係者の認識の共有が必須であり、地域内の全ての関係者の連携が必要。地域公共交通の再編は、生活圏で協議すべきであり、住民ニーズに対応した、全ての交通モードを視野に入れなければならない」と熱心に語られました。

● ムーミン列車の いすみ鉄道

いすみ鉄道は、総延長26.8kmの三セク鉄道です。公募社長の鳥塚さんは、子どもたちからの鉄道ファンで、航空会社に長年勤めた後、この会社の社長に就任されました。沿線の住民は駅舎の掃除やペンキの塗り替えなど、自発的なボランティア活動でい

すみ鉄道を支えており、この思いに答えたいと鳥塚さんは話されました。
女性客を呼ぶために、ムーミン列車を考案したり、地域の新鮮な野菜や魚を使った伊勢海老特急(2名2万4千円乗車券込)や、スイーツ・ワイン列車(1千円乗車券別)、などを売り出し、数か月先まで予約が取れない列車もあるそうです。

「昭和40年代のディーゼル機関車を安く買って修理し運行しているが、広告費もあまりかけていない。」「電車があるから人が来る。」「鉄道があるとなんとは大違い。今から鉄道を引くことはできない。飯田線には限りない可能性がある。」の言葉が心に残りました。

— 12月定例市議会の放送予定日 —

伊那市チャンネル		伊那ケーブルテレビ	
12月番組(予定)表		デジタル 11ch, C511ch	
生放送		再放送	
11月30日	10:00 議会開会	12月 1日	19:00
12月 9日	9:30 一般質問(1日目)	12月10日	19:00
12月10日	9:30 一般質問(2日目)	12月11日	19:00
12月11日	9:30 一般質問(3日目)	12月12日	19:00
12月18日	10:00 議会閉会	12月19日	19:00